



®環境省  
エコアクション21  
認証番号 0006924

# 環境活動レポート 2017

〔 2016年10月～2017年9月  
2018年1月15日 発行 〕



ニホンノウサギ（グリーンピアなかがわ）



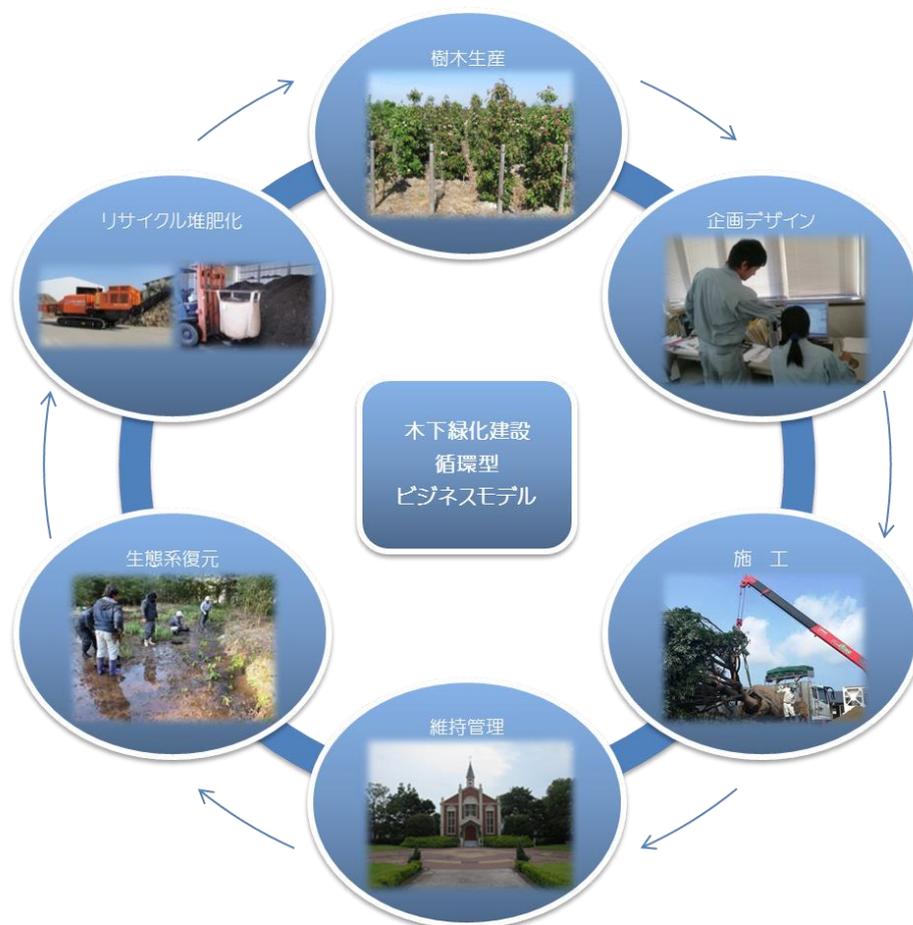
みどりとともにくらす  
木下緑化建設株式会社

## ごあいさつ

木下緑化建設(株)は、今年で創業から半世紀を超えるとともに、業績も着実に伸ばしてきました。これもひとえに、当社の企業理念である「環境経営」がお客様からご支持をいただいたお陰であると感じています。

当社は高度成長期、バブル経済、デフレ不況と大きな時代の流れを乗り越えてきました。この間、公共工事中心の経営から民間工事へのシフト、廃棄物処分業への参入、さらには官から民への時代の流れの中で、指定管理者として公園の管理運営に積極的に取り組むなど業態を変えてきました。昨年4月からは春日公園の指定管理者としてその管理運営に携わっております。これで指定管理は5件目となり、造園会社では西日本でトップクラスとなりました。

今後とも、当社事業の4本柱である緑化事業・公園指定管理・樹木生産・リサイクル事業をとおして、生物多様性保全や地球温暖化防止を視野に入れた企業活動を行うことにより、地域の発展に寄与して参りたいと考えております。



# 目 次

1.	会社概要	2
2.	経営理念と環境方針	4
3.	環境活動推進体制	4
4.	環境目標 計画・実績・評価・次年度の取組（本社/田主丸）	5
5.	環境目標 計画・実績・評価・次年度の取組（リサイクルセンター）	8
6.	マテリアルバランス	10
7.	その他環境関連活動	11
	1) 認証取得/受賞歴 等	11
	2) 地球温暖化の緩和、快適な環境づくり	12
	3) 再生可能エネルギーへの取り組み	13
	4) 既存緑地の管理 公園の指定管理	14
	5) 生物多様性保全への取り組み	15
	6) 社会貢献	24
8.	環境関連法規等遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	25
9.	代表者による全体評価と見直しの結果	26

## 1. 会社概要

- 会社名 木下緑化建設株式会社
- 代表者名 代表取締役社長 木下 浩市
- 所在地 本社 福岡市南区長丘3丁目13番27号  
田主丸営業所 福岡県久留米市田主丸町志塚島219番地1  
緑のリサイクルセンター 福岡県久留米市田主丸町志塚島字徳間林1番3
- 環境管理責任者 営業部 課長 山口 琢也
- 連絡先 TEL 092-551-0877 FAX 092-552-7041  
E-mail kanri@kinoshitaryokuka.co HP <http://www.kinoshitaryokuka.com/>
- 営業種目 植木、苗木の販売/各種公園設計施工/土木工事一式/産業廃棄物の収集、運搬、処理業/  
一般廃棄物の収集、運搬、処理業/公園・スポーツ施設等、施設緑地の運営、管理、および  
運営受託に関する業務/農産物の生産・加工・販売、農園・農産物直売店・農産物加工所の  
経営、および運営受託に関する業務/キャンプ場、バーベキュー場および研修教育施設の  
運営並びに運営受託に関する業務/公園、施設緑地等における教育・文化事業の企画および  
興業/地方自治法に基づく指定管理者制度による公共施設の運営受託に関する業務/産業  
廃棄物再資源化（木くず）業務/不動産の賃貸借による収益業務 等
- 設 立 1967年 2月 9日
- 資本金 4,500万円
- 売上高 2017年度 10億5,480万円
- 従業員数 47名
- 床面積 本社 612.15㎡ 田主丸営業所 52㎡ 緑のリサイクルセンター 3,888㎡
- 許可番号 造園工事業 国土交通大臣許可（特-27）第7066号  
土木工事業 とび・土工工事業 国土交通大臣許可（般-27）第7066号

【産業廃棄物処分業許可証】

県及び市	許可番号	事業の範囲	許可年月日 有効期限年月日
久留米市長	第11220080473号	中間処理【破碎（移動式を含む）】：木くず 中間処理（発酵）：木くず	2016年11月29日 2021年11月28日

【一般廃棄物処分業許可証】

県及び市	許可番号	事業の範囲	許可年月日 有効期限年月日
久留米市長	第3014号	中間処理【破碎（移動式を含む）】：木くず、草 中間処理（発酵）：木くず、草	2016年4月1日 2018年3月31日

【産業廃棄物収集運搬業許可】

県及び市	許可番号	事業の範囲	許可年月日 有効期限年月日	積替 保管
福岡県知事	第4000080473号	木くず	2016年10月20日 2021年10月19日	無

【一般廃棄物収集運搬業許可】

県及び市	許可番号	事業の範囲	許可年月日 有効期限年月日	積替 保管
久留米市長	第1014号	木くず、草 (事業系一般廃棄物に限る)	2016年4月1日 2018年3月31日	無

【特殊肥料生産販売】

福岡県 第2201号

リサイクルウッド堆肥	福岡県第 4895 号 (チップ)
ゴールデンアース	福岡県第 5204 号 (放線菌)
ゴールデンアース 2	福岡県第 5249 号 (キンド・尿素等)

●資格者数

資格名	人数	資格名	人数
1級造園施工管理技士	19名	公園管理運営士	4名
2級造園施工管理技士	3名	植栽基盤診断士	3名
1級土木施工管理技士	12名	街路樹剪定士	1名
2級土木施工管理技士	7名	破碎・リサイクル施設技術管理士	4名
1級建築施工管理技士	1名	自然再生士	2名
樹木医	1名	屋上緑化コーディネーター	4名
ピオトープ管理士(2級施工)	2名	職長・安全衛生責任者	20名

(延べ83名/従業員47名)

●収集運搬

運搬車両の種類と台数

キャブオーバー	2 t	2台
ダンプ	2 t	1台
キャブオーバー	2.85 t	1台
コンテナ専用車	3.85 t	1台

●処理施設

施設の種類	移動式破碎施設(日立建機日本株 ZR260HC)
処分能力(規模)	213 t/日(8h)
施設の種類	移動式破碎施設(株式会社諸岡 MC-2000型)
処分能力(規模)	27.44 t/日(8h)

●対象範囲

対象組織 : 本社・田主丸営業所・緑のリサイクルセンター  
 対象活動 : 造園工事業・土木工事業・とび・土工工事業、産業廃棄物処分業  
 一般廃棄物処分業、産業廃棄物収集運搬業、一般廃棄物収集運搬業

## 2. 経営理念と環境方針

### 【 経営理念 】

- ・環境づくりに技術研鑽を通じて地域社会に貢献する。
- ・品質確保と信頼に勤め顧客満足を向上する。
- ・常に会社の繁栄と社員の生活向上に努める。

### 【 環境方針 】

木下緑化建設株式会社は、緑の住環境づくりを通じて「快適な暮らしと緑」「自然との共生」を掲げ、全従業員が事業活動のあらゆる面で地球環境に密接に関わっていることを認識して行動します。

- 環境経営システムを構築し、次の事項を重点的なテーマとして取り組みます。
 

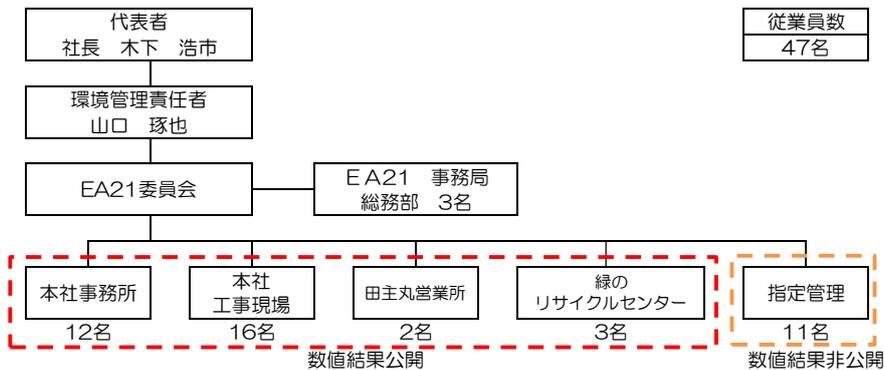
(1) CO <sub>2</sub> 排出量の削減	(6) 生物多様性保全への取り組み
(2) 廃棄物の削減	(7) 社会貢献に努める
(3) 排水量（水使用量）の削減	(8) 計画的な環境教育・訓練の実施
(4) リサイクルの促進	(9) 化学物質の適正管理
(5) グリーン購入の促進	
- 地球温暖化の緩和、快適な環境づくりに貢献します。
  - 公園、集合住宅緑化、工場緑化、外構造園の緑化事業はもとより、屋上緑化、壁面緑化、駐車場緑化等の環境緑化事業を推進します。
  - 開発やメンテナンスにより発生する根株や剪定枝、草をチップ化し、これを材料に堆肥製造し、植生基盤材として新しい緑地へ還元します。
  - 温室効果ガスをほとんど排出しない発電方法である「風力発電」の普及に取り組みます。
  - 公園の運営管理を通じて生き物の観察記録を作成し地域の環境指標として活用します。
- 関係する環境関連法規を順守します。

制定：2010年10月1日

改訂：2017年10月1日

## 3. 環境活動推進体制

### EA21実施体制



所属	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表として環境経営全般について責任と権限を持つ。</li> <li>・環境方針の作成・見直し・従業員への周知を行う。</li> <li>・環境管理責任者、EA21事務局員を任命する。</li> <li>・EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する。</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築、実行し、環境実績を向上させる。</li> <li>・環境方針、環境目標、環境活動計画の達成と実績の結果を 合同会議で報告する。</li> <li>・発生した問題点を経営会議で報告し、是正処置、予防処置を合同会議にて全従業員へ周知徹底する。</li> </ul>
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類の作成・維持・管理を行う。</li> <li>・社外からの環境情報の収集と伝達を行う。</li> </ul>
EA21委員会（経営会議）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針、環境目標の達成状況及び環境計画の実行状況を審議する。</li> <li>・関連する法規制等を各課員へ周知徹底し順守する。</li> <li>・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚する。</li> <li>・緊急事態への準備及び対応の訓練をKY活動で実施する。</li> <li>・EA21方針を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。</li> </ul>

#### 4. 環境目標 計画・実績・評価・次年度の取組（本社/田主丸）

●2017年度は以下の計画に基づき活動を行いました。

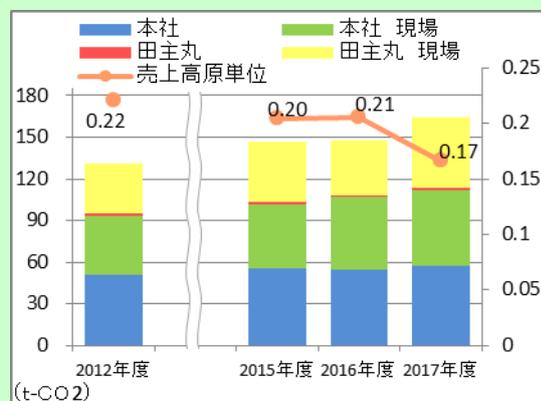
目標項目	活動計画
二酸化炭素排出量の削減	全社員出席の合同会議（月1回）の議題項目に“EA21報告”を設ける。 電気使用量の削減、燃料（ガソリン、軽油）の削減を周知徹底する。 朝礼で“EA21スローガン”唱和する。 環境活動を周知徹底する。
電気使用量の削減	使用していない機器類・照明の電源を切る。 仕事の効率化を図る。
燃料使用量の削減	車両の切り替えをする。 幹部車両は原則ハイブリッドカーとする。 ipadを活用した情報伝達で無駄な移動を無くす。 仕事の効率化を図る。 アイドリングストップとエコドライブを徹底する。
廃棄物排出量の削減	発生原因の重大要素をつかみ、改善策を設定する。
コピー機使用量の削減	紙媒体以外のPRを強化する。 裏紙使用を徹底する。
水使用量の削減	水資源の無駄が無いように実績管理をする。 田主丸農場での樹木仮置き期間の短縮を図り灌水を削減する。
グリーン購入の促進	事務用品・消耗品購入時のグリーン商品の選定を徹底する。
ピオトープへの取り組み	自然教育を実施する。 九千部山での生物種の確認を進める。 生物多様性の重要性啓発を進める。

●各項目の実績値・売上高原単位は以下の通りです。

（2016年度より目標の設定や評価の確認を各排出量・使用量を売上高（百万円）で割り算出した原単位にて行う事としました。）

※電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の2007年度実排出係数 0.387 kg-CO<sub>2</sub>/kwhを使用します。

##### 二酸化炭素排出



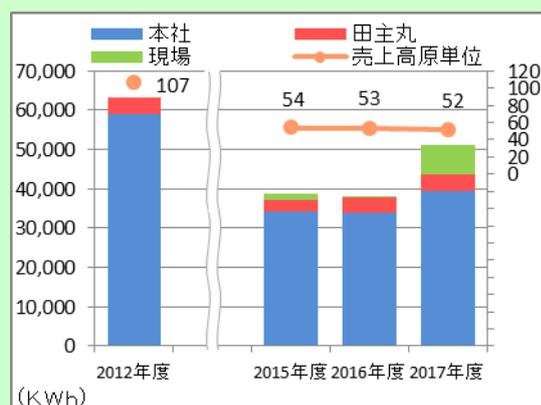
##### 取組結果

県外での工事が増えた事で、田主丸現場(農場)からの遠距離輸送が多くなった事がCO<sub>2</sub>排出量増加の要因と考えています。その中でも通勤や移動のついでに樹木を配送するなど、配達回数の削減を行った事で、売上高を考慮した原単位では大幅な削減効果が得られました。

##### 次年度の取組

2018年度も現状の工事高を維持できると考えています。その中で遠距離輸送対策として、仮置場を大きく確保し大型車をチャーターすることで、配達回数の縮減を図ります。

##### 電気使用



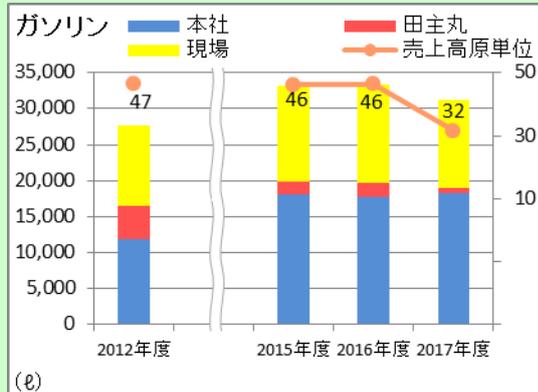
##### 取組結果

社員増加に伴い社内での使用部屋数を増やした事で本社電気使用量が増加しました。また、大型工事の増加に伴い現場事務所を社外に設置したことも、現場での電気使用量増加の要因となりました。

##### 次年度の取組

本社内での節電意識と比較すると、各現場事務所での節電意識がどこまで徹底されていたかに疑問が残る結果でした。次年度は現場での電気使用量も注視し、担当者への連絡、改善を促していきます。

## 燃料使用



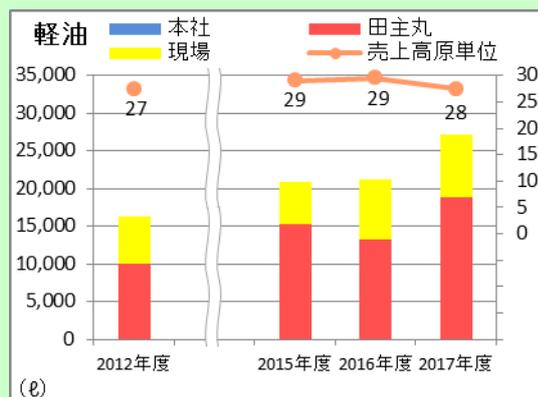
### 取組結果

社員数は今年度も増加(2016年度 43人⇒2017年度 47人)しましたが、特に工事現場への移動の際に、複数人での乗り合い移動を意識することが燃料使用の削減に繋がりました。

### 次年度の取組

売上高の増加とガソリン使用量削減の相乗効果で、売上高原単位では大きな成果を挙げることが出来ました。次年度も車両の買替だけに頼らない、効率的な車両の運用を心がけていきます。

## 燃料使用



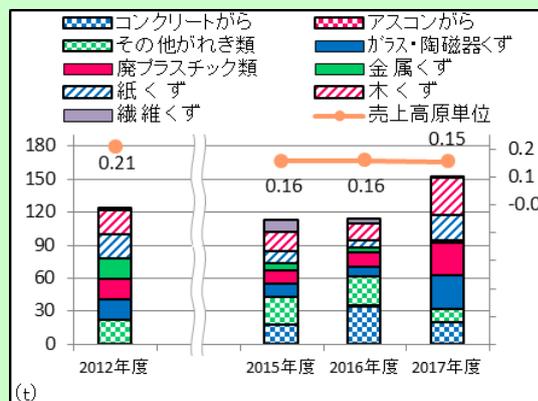
### 取組結果

現場での軽油使用は工事高の増加に比例せず、昨年度同様の結果に抑えられましたが、農場からの配達距離、回数に関しては売上高に比例し増加となりました。

### 次年度の取組

軽油使用車両に関しては、買替も進んでいないため燃費が悪くなっている車両も存在します。車両ごとの燃費比較結果を社員間で共有し、優先的に使う車両を決める等の工夫を行っていきます。

## 産廃ボックスの廃棄物排出



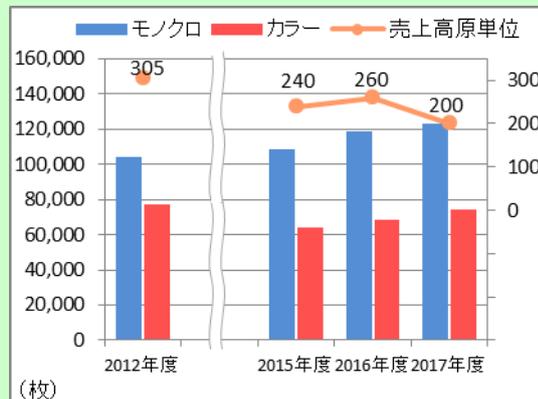
### 取組結果

木くずを筆頭に、紙くず・廃プラ・ガラス等、全体的に廃棄物の排出は増加となりました。現場で処分頂くものと当社に持ち帰らなければいけないものの分別、先方との協議が必要な結果となりました。

### 次年度の取組

引き続き、工事現場にて元請け側で廃棄・リサイクルする必要があるものに関しては、適正な処置を行って頂くよう、現場担当者から進言・協議を行うよう是正していきます。

## コピー機使用



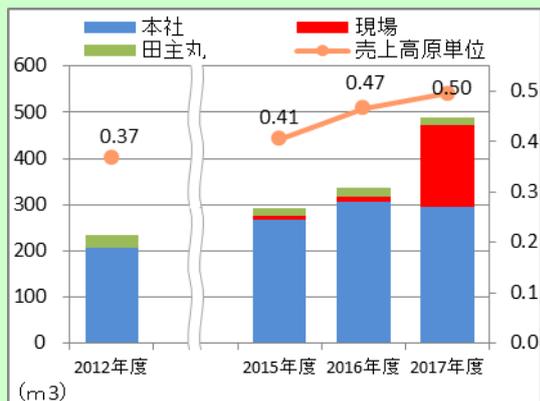
### 取組結果

昨年度に引き続きコピー機の使用枚数は増加傾向にあります。対外的な文書に関してはペーパーの使用が必要な場合がありますが、社内文書のペーパーレス化が課題となりました。

### 次年度の取組

社内会議資料等に関しては、ipad を活用しペーパーレスを図ると共に、その他の回覧資料等についても積極的なタブレット活用で、プリント回数を減らします。

## 水使用



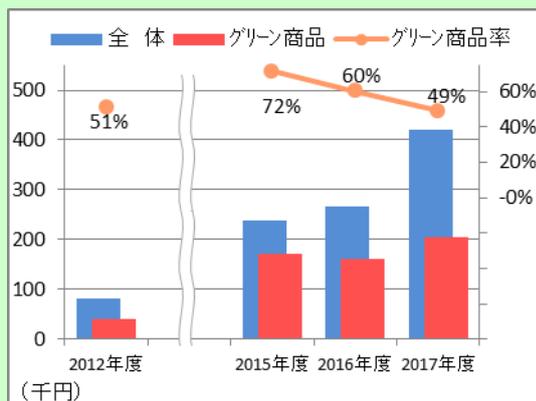
### 取組結果

現場での水使用が大幅に増加しました。これは、遠方工事における現場事務所設置に伴い、現地宿泊の機会が増えた事による、生活用水の増加が原因です。宿泊による移動の削減で、現場での燃料使用は減りましたが、水使用に影響を及ぼしました。一方、本社2Fと3Fの節水タイプトイレ取替に伴い、本社水使用の増加には一定の歯止めがかかりました。

### 次年度の取組

水使用削減の課題として、雨水活用は不可欠です。農場でのタンク導入等、雨水に対する活用の計画を進めていきます。

## グリーン購入の促進



### 取組結果

大型の指定管理受注に伴い、初期備品の購入額が増加しましたが、その中でグリーン商品では調達出来なかったもの、選定していなかったものがあり、グリーン商品率を大きく下げる結果となりました。

### 次年度の取組

当社が指定管理する公園・施設も5か所となり、それぞれが備品購入を行っています。その中でグリーン商品を選定していなかったケースも見受けられました。管理施設増加に伴い社員数も増えておりますが、グリーン購入の意義などをもう一度共有していきます。

●各目標項目に対する評価 (○×) と次年度の目標値は以下の通りです。

目標項目	2017年度目標	2017年度実績	評価	2018年度目標	単位
二酸化炭素排出量原単位	0.20	0.17	○	0.20	t-CO <sub>2</sub> /売上高 (百万円)
電気使用量原単位	50	52	×	55	KWh/売上高 (百万円)
燃料使用量原単位	70	59	○	60	ℓ/売上高 (百万円)
廃棄物排出量原単位	0.16	0.15	○	0.16	t/売上高 (百万円)
コピー機使用量原単位	250	200	○	250	枚/売上高 (百万円)
水使用量原単位	0.41	0.50	×	0.41	m <sup>3</sup> /売上高 (百万円)
グリーン購入の促進	76%	49%	×	0%	%

### 全体の評価 / 次年度の取組

売上高原単位という目線を見た場合に、環境負荷を大きく削減できた項目もありましたが、管理施設数・社員数の増加に伴い、必ずしも全員が同じ意識で取り組んでいるとは言えない状況にあります。以前は全社員出席の会議を毎月行っておりましたが、遠方からの出席による燃料使用の削減等、経営の効率化に伴い、現在は年2回の開催としております。その貴重な会議の場において、参加社員からのエコアクション取組み報告を行わせる等、受け身ではない報告会を行う事で、より一層の意識の定着と末端までの取組み強化を図ります。

2018年度はハイブリッド車に限らず、工事車両においても、燃費・費用・効果を見極めて入れ替え計画を立て、燃料使用のさらなる効率化も図っていきます。

## 5. 環境目標 計画・実績・評価・次年度の取組（リサイクルセンター）

●2017年度は以下の計画に基づき活動を行いました。

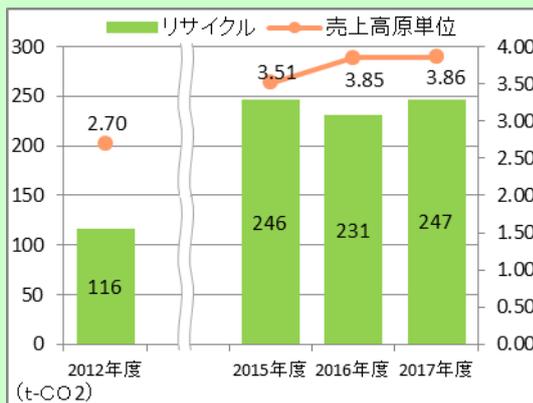
目標項目	活動項目
二酸化炭素排出量の削減	全社員出席の合同会議（各月1回）の議題の中に「E A21報告」を設ける。 電気使用量の削減、燃料（ガソリン、軽油）の削減を周知徹底する。
電気使用量の削減	仕事の効率化を図る。
燃料使用量の削減	仕事の効率化を図る。ipadを活用した情報伝達で無駄な移動を無くす。 破砕機の定期的な点検整備をする。
廃棄物排出量の削減	異物混入が無いよう搬入業者へ注意喚起を徹底する。
水使用量の削減	田主丸農場での樹木仮置き期間の短縮を図り灌水を削減する。
産廃・一廃 受託 リサイクル事業の促進	産廃受託量の増加を図る。 リサイクル製品の活用をPRする。

●各項目の実績値・原単位は以下の通りです。

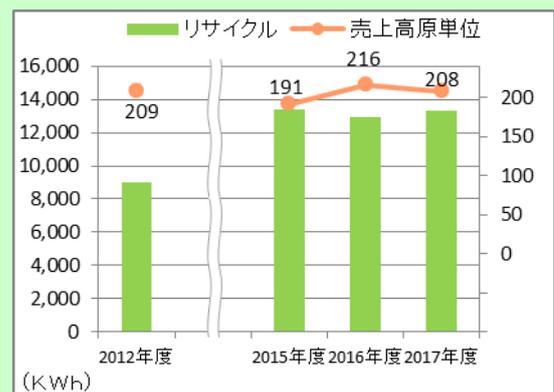
（2016年度より目標の設定や評価の確認は、各排出量・使用量を売上高（百万円）で割り算出した原単位にて行う事としました。）

※電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の2007年度実排出係数  $0.387 \text{ kg-CO}_2/\text{kWh}$  を使用します。

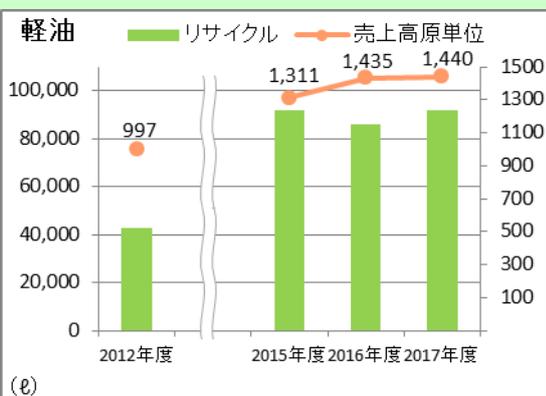
二酸化炭素排出



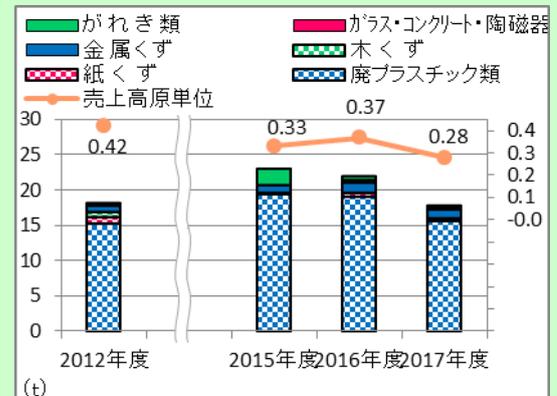
電気使用



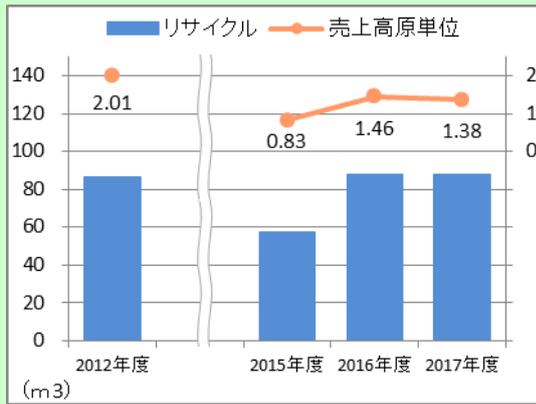
燃料使用



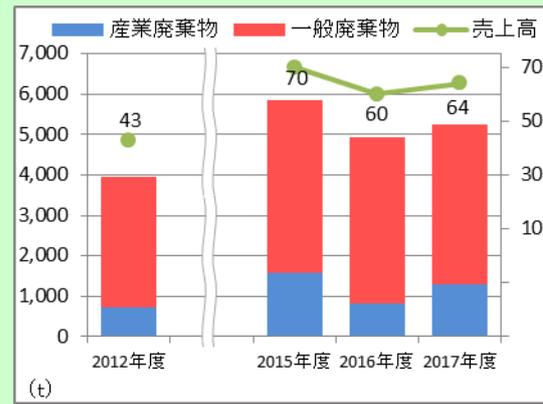
産廃ボックスの廃棄物排出



### 水使用



### リサイクル事業の推進



●各目標項目に対する評価（○×）と次年度の目標値は以下の通りです。

目 標 項 目	2017年度 目 標	2017年度実績	評価	2018年度目標	単 位
二酸化炭素排出量原単位	3.52	3.86	×	3.52	t-CO <sub>2</sub> /売上高(百万円)
電気使用量原単位	191	208	×	200	KWh/売上高(百万円)
燃料使用量原単位	1,311	1,440	×	1,400	ℓ/売上高(百万円)
廃棄物排出量原単位	0.33	0.28	○	0.33	t/売上高(百万円)
水使用量原単位	0.83	1.38	×	0.83	m3/売上高(百万円)
産廃受託 リサイクル事業の促進	60	64	○	60	百万

### 全体の評価 / 次年度を取組

前年との比較において、二酸化炭素排出量・電気使用量・燃料使用量は、売上高に比例する形で増加に転じる結果となりました。一方、産廃ボックスの排出量は搬入業者への木くず以外の混入物を混ぜないようにお願いを徹底したことが徐々に成果に表れてきています。

2017年7月に起こった九州北部豪雨災害による河川への流木増加は、2018年度の受入れ量にも影響を及ぼすことは間違いのない状況です。場内整理・受入態勢を強化し、無理・無駄な機械運転を減らす事で燃料消費を抑えると共に、少しでも多くの災害発生材を処理していくことで、地域の環境改善に貢献していく所存です。



リサイクルセンター

## 6. マテリアルバランス

下図は 2017 年度の資源や資材の投入（インプット）から環境負荷量（アウトプット）までを示したものです。

資源投入量（インプット）				
＜ エネルギー使用量 ＞			＜ 資源等使用量 ＞	
本社 田主丸(営)	電力量	51,177千kWh	圃場樹木（2017.9.30 現在）	7,099本
	上水	471m <sup>3</sup>	循環資源使用量	3,107t
	地下水	18m <sup>3</sup>	その他資源	2,033t
	燃料	ガソリン 31,213ℓ 軽油 27,167ℓ	コピーカウンター	モノクロ 116,821枚 カラー 72,794枚
緑の リサイクルセンター	＜ エネルギー使用量 ＞			＜ 資源等使用量 ＞
	電力量	13,284千kWh	循環資源使用量	9t
	上水	0m <sup>3</sup>	その他資源	0t
	地下水	88m <sup>3</sup>	コピーカウンター	モノクロ 6,490枚 カラー 1,787枚
	燃料	ガソリン 0ℓ 軽油 92,169ℓ		



事業活動				
				
緑化事業		指定管理		
				
樹木生産・販売		リサイクル事業		
樹木供給量（植栽樹木移植本数）	26,225 本			
圃場樹木（H28.9.30）	441 本			
リサイクル事業 （中間処理）	①産業廃棄物（受入）	1,291 本（木くず）		
	②一般廃棄物（受入）	3,952 本（木くず・草）		
	③再資源化量	5,243 t	（木くず）チップ化	2,671 t
			（木くず）チップ、バイオマス燃料	1,198 t
（木くず・草）発酵、堆肥化			1,374 t	



環境負荷量（アウトプット）				
＜ エネルギー使用量 ＞		＜ 資源等使用量 ＞		
本社 田主丸(営)	二酸化炭素排出量	164,164 kg-CO <sub>2</sub>	チップ	952t
	排水	489 m <sup>3</sup>	堆肥	9t
緑の リサイクルセンター	＜ エネルギー使用量 ＞		＜ 資源等使用量 ＞	
	二酸化炭素排出量	247,024 kg-CO <sub>2</sub>	チップ	2,917t
	排水	88 m <sup>3</sup>	堆肥	1,365t

## 7. その他環境関連活動

### 1) 認証取得/受賞歴 等

認証時期	認証等名称	認証機関
2002年2月～	ISO 9001	インターナショナル・サーティフィケーションズ・リミテッド（ICL）
2011年4月～	エコアクション21	一般財団法人 持続性推進機構
2011年9月～	エコ事業所	福岡県地球温暖化防止活動推進センター
2016年8月～	社会貢献優良企業認定	福岡市
2017年1月～	OHSAS 18001	インターナショナル・サーティフィケーションズ・リミテッド（ICL）



平成25年度エコアクション21  
環境活動レポート大賞・九州  
九州地方環境事務所特別賞



平成26年度エコアクション21  
環境活動レポート大賞・九州  
エコアクション21環境活動レポート大賞・九州



第18回環境コミュニケーション大賞表彰式  
主催：環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム  
第18回環境コミュニケーション大賞  
環境活動レポート大賞・九州  
環境レポート部門・優秀賞



平成27年度エコアクション21  
環境活動レポート大賞・九州  
九州環境カウンセラー協会特別賞



平成28年度エコアクション21  
環境活動レポート大賞・九州  
環境貢献賞



平成29年度エコアクション21  
環境活動レポート大賞・九州10周年記念  
特別賞



海の中道フラワーピクニック2016  
うみなかフラワーガーデンコンテスト  
プロフェッショナル部門 最優秀賞



海の中道フラワーピクニック2017  
うみなかフラワーガーデンコンテスト  
プロフェッショナル部門 優秀賞

## 2) 地球温暖化の緩和、快適な環境づくり

### ●屋上緑化

断熱効果はヒートアイランド現象の抑制に効果を奏しています。



J R大分シティ



ホルトホール大分



M J R六本松

### ●室内緑化

室内など、より身近な場所を緑化することで植物と共に生きる空間を提供しています。



J R博多シティ くうてん



J R博多シティ くうてん



某飲食店 店内

### ●壁面緑化

よく目に留まる壁面を緑化することで、環境へ配慮していることをアピールする効果もあります。



久留米市駅東口立体駐車場



新宮中央駅



J R J P 博多ビル

### ●街並づくり・エクステリア

最も身近な緑として、くらしの空間へ運び届け、共に暮らせる空間づくりを立案し、設計、施工を行っています。



ジェイフォレスト古賀・新宮



ジェイフォレスト春日原東町



ジョイナス新宮

### ●集合住宅

そこに暮らす人々とその建築物に高い付加価値を与え、また周辺の景観を向上させる植栽を立案し、設計、施工を行っています。



M J R大分駅前



M J R新宮中央



M J R浦上プレシャスガーデン

●建物緑化

建物デザインの個性化を担う植栽帯の創出は、美しい街並みづくりにつながっています。



六本松 421



井門ビル



ホテルウィング

●公共緑地

広大な生き生きとした緑地は、訪れる人に憩いとゆとりをもたらします。



大濠公園 日本庭園



海の中道海浜公園



旧金石城庭園

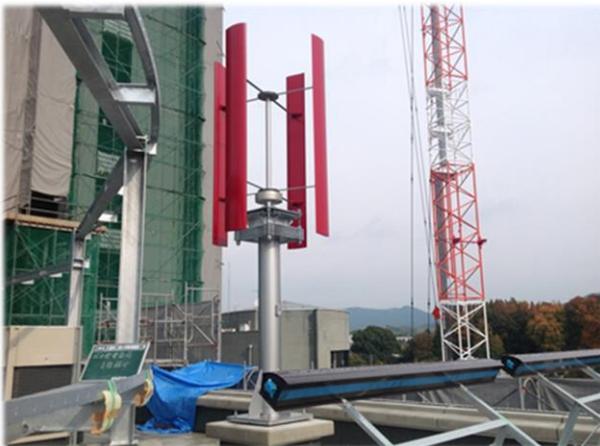
●樹木の生産・販売

植木・苗木の生産地として全国的に有名な田主丸で緑化樹木の生産・販売を行っています。圃場の見学会も行っており、お客様をご案内しております。



3) 再生可能エネルギーへの取組

温室効果ガスをほとんど排出しない発電方法である「風力発電」の普及に取り組んでいます。



久留米工業大学（2013年設置）



六本松 421（2017年設置）

#### 4) 既存緑地の管理 公園の指定管理

##### ●緑地のメンテナンス

緑は生きています。そこに暮らす人々にきれいな花や葉を見せたり、照付ける日差しを和らげたり、やさしい風を運ぶためには、緑が健全でなければなりません。健全な緑に健全な人々が集う。そんなやすらぎの空間を維持し続けることができるように取り組んでいます。



ホテルオークラ JR ハウステンボス



湯布院温泉「梅園」



JR博多シティ「くうてん」

##### ●運営管理

###### JR博多シティ屋上庭園運営管理



鉄道神社と運営スタッフ



バックヤードでの親子畑体験



くうてん 植栽管理

###### JR大分シティ屋上庭園運営管理



屋上花菜園 花の植付



屋上菜園イベント



屋上菜園 作付作業

##### ●ピオトープ

在来種（植物・動物）の保護と触れて遊べる空間を、日常生活の身近な環境として復活させようとしています。



マンション中庭



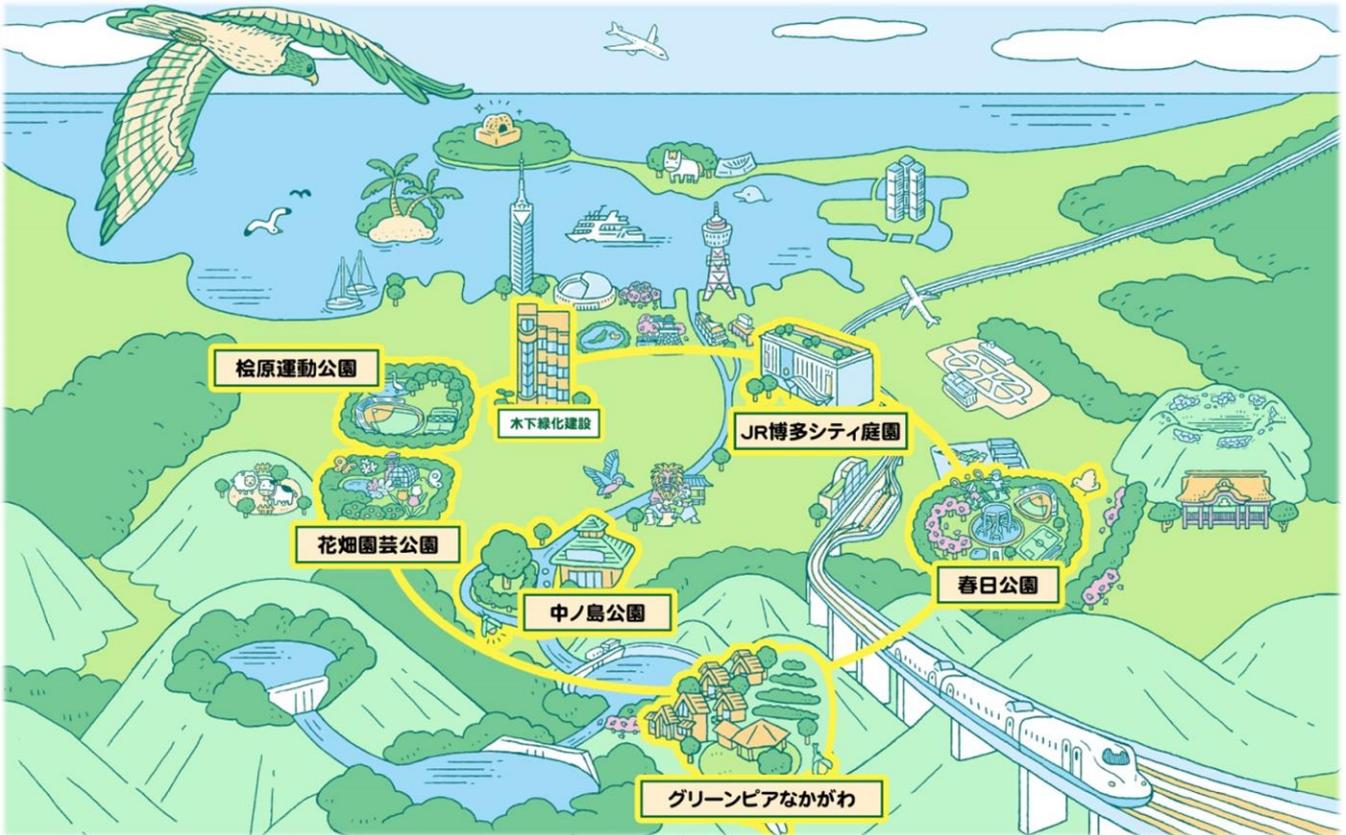
つばめの杜広場



湯布院温泉「梅園」

●指定管理者

現在、福岡県・福岡市・那珂川町より委託を受け、5公園の指定管理を行っています。福岡県内の山地から住宅地まで幅広い地域の緑地を管理することで一つの公園に留まらず、地域全体の生態系保全に寄与することができますと考えています。



※JR博多シティは民間企業より委託

【 グリーンピアながかわ 】



【 中ノ島公園 】



【 花畑園芸公園 】



【 桜原運動公園 】



【 春日公園 】

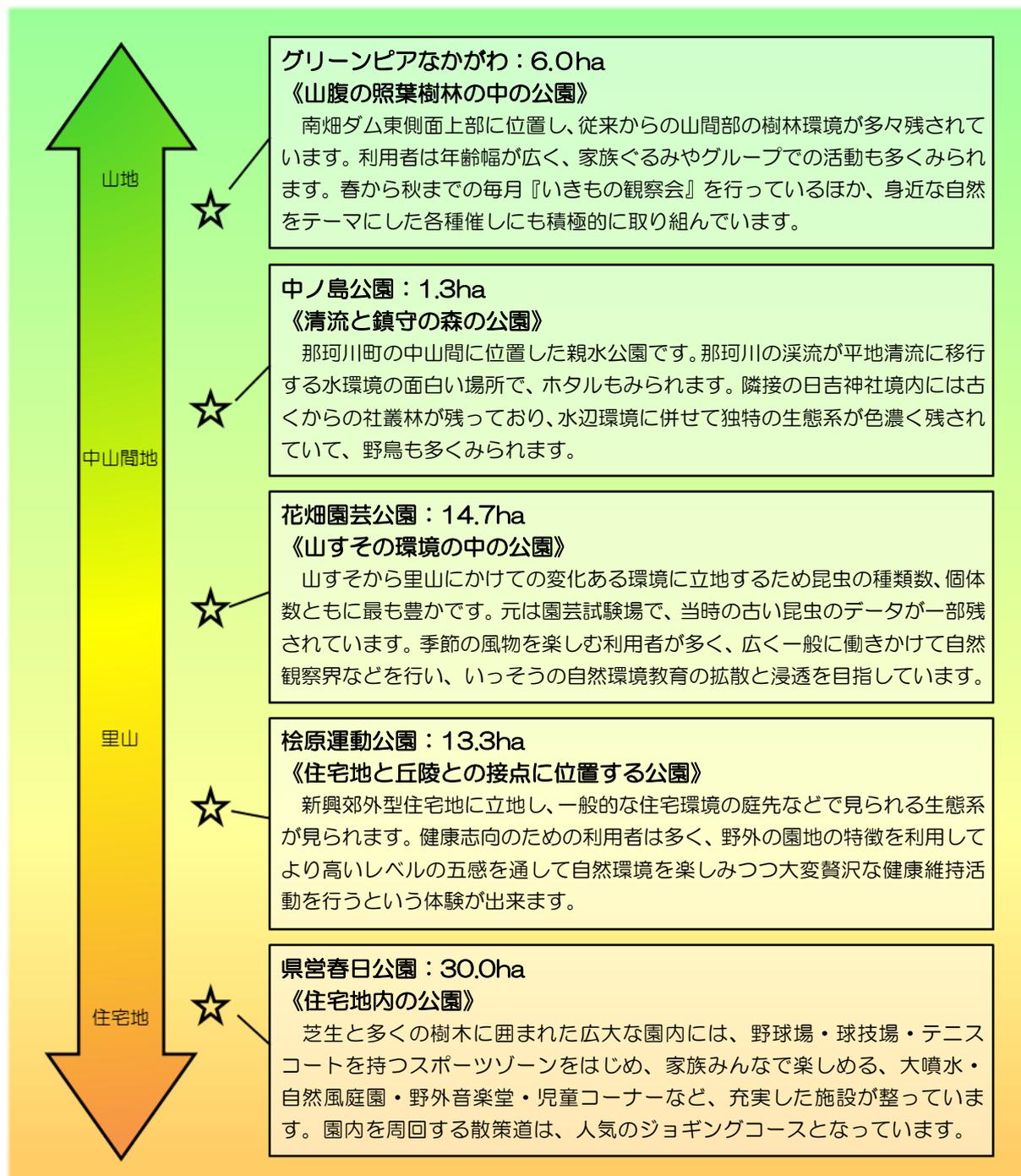


## 5) 生物多様性保全への取り組み

私たちは創立以来長年にわたり有機物の第一次生産者である植物の植栽分野に広く深く関わってきました。その中で蓄積してきたさまざまな知識と技術と知恵と思いを生かし、生物多様性保全についても社内外を問わず機会あるごとにさまざまに働きかけをしてきました。その幾多の事例のなかで今年度の主だったものいくつかを、私たちが携わる指定管理公園を中心にこれからご紹介します。

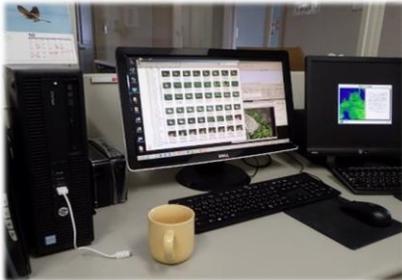
私たちが指定管理をしている公園は、それぞれ独特の環境に立地しており、生物多様性から見てもなかなか興味が尽きません。これら各公園運営に当たってはそれぞれの特色を生かした生物多様性保全を心がけ、さまざまな施策の展開をしています。

今年度は指定管理公園におけるビジターとの大切な直接の出会いをさらに増やし、その中で少しでも感動と共感を得ていただけるべくさまざまなプログラムを組みました。この感動と共感が自然界への興味の扉を開き、自然界の仕組みとその大切さを知り、将来にわたって自然環境とうまく共存していけるかが今の私たちの心がけねばならない重要な命題のひとつです。とはいえ、今の世の中は直接の出会いにはできないにしろ、さまざまな方法で意思の疎通ができますし、また、それが直接の出会いへのトリガーになるかもしれません。このようなことを前提にして ①ハード面の拡充 ②ソフト面の多様化 ③情報の集積と発信 の三つの柱を作りました。



●生物多様性保全を伝える媒体としてのハード面の拡充と機能強化

- ・IT 社会により対応すべく、社内のサーバーを中心とするネットワークシステムの見直し、大幅な洗い換えによる容量の増加やスピードアップなど機能のレベルアップを図りました。
- ・日々の業務面はもとより情報伝達の正確性とスピードアップを高めるため、タブレット端末を配付し社内です活用を始めました。
- ・今まで経費節減のため使用していなかった本社ビル3F エリアに指定管理課や生物調査担当デスクを移動し、専用フリーングコーナーを設けるなど、生物多様性保全に向けての社内スペースの更なる効率的な活用を始めました。
- ・従来社内に固定設置していた液晶プロジェクターに加えて最新鋭のポータブル液晶プロジェクターを新たに導入し、社内研修や増加しつつある各種の出前講座にもフレキシブルに対応できる体制を整えました。
- ・花畑園芸公園においては園地の広大な敷地に併せて大きな高低差があるため、巡回や各種連絡手段として排ガスの発生のない電動カートを導入しました。



本社 3F 生物調査関係デスク



液晶プロジェクターを使った  
一般向け生物多様性関連講習会



電動カート：花畑園芸公園

●生物多様性保全を図るソフト面の多様化

・園地内管理業務面での取り組み

花粉媒介者の誘致と定住を狙って吸蜜源の植栽と確保・・・不足しがちな春先の小型チョウ類やハチ、ハナアブなど訪花性昆虫のためのハナナの植栽（グリーンピアなかがわ）、大型アゲハチョウ類の秋の重要な吸蜜源となるヒガンバナの育成（中ノ島公園・グリーンピアなかがわ）、中・小型チョウやハナバチ、ハナアブ類の越冬前の吸蜜源となるコスモスの植栽（グリーンピアなかがわ・春日公園）をしました。



霜が降りたハナナの苗床



ヒガンバナの育成



コスモスの植栽と開花

チョウの誘致を狙って食草の植栽・・・旅するチョウとして知られるアサギマダラの食草のキジョランをテスト植栽、スミナガシやアオバセセリの食樹である園内にわずか1本自生する希少なアワブキの管理、ジャコウアゲハの食草のひとつである園内に一株のみ自生する希少なオオパウマノスズクサの管理（グリーンピアなかがわ）を始めました。



キジョランの植栽



アワブキの保護管理

- 生き物の住処作り

一見なんでもない石積みですが、作業中に出てきた石はこのように積んで、爬虫類や昆虫などの住処作りをしています（グリーンピアなかがわ）。



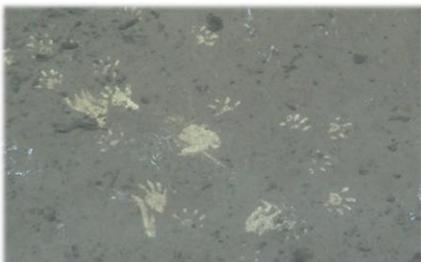
- 外来生物の駆除

佐賀や筑後のクリークで繁茂して問題となっているホテイアオイが公園内の湖沼にも開放水面が無いほどに繁茂して来ているので、思い切った大幅な撤去を行いました。これにより各種の水鳥や水生生物がずっと棲みやすくなりました（春日公園）。また、特定外来生物であるアライグマも各地で増加が心配されていますが、その駆除も重要です（グリーンピアなかがわ）。



ホテイアオイに覆われた水面と、除去後きれいになった池：春日公園

特定外来植物オオキンケイギク



アライグマの足跡

捕獲されたアライグマ

孟宗竹の伐採と竹炭化

- 池の大掃除

今年度より新たに指定管理を始めた公園内の池が今まで長らく放置されていたようなので、水を抜き、池をさらえました。発見された水生生物は在来種、外来種に選り分けて、在来種はきれいになった池にまた戻しました（春日公園）。



池さらえ中の菖蒲池と保護された魚類、昆虫類

・グリーンカーテン

日差しの強い夏場用に、アサガオの涼やかなグリーンカーテンを設置しました。天にも届けと長い竿竹を用意しました（桧原運動公園）。



アサガオのグリーンカーテン

●利用者向けの各種働きかけ

各指定管理公園においてはそれぞれの立地を生かし、ビジターに向けた各種のサービスを積極的に提供するとともに将来の来園期待者へ向けてのアピールと勧誘が必要であるとの見地から、生物多様性保全の啓蒙に十分に留意し、同時にますます多様化するビジターからのニーズにも十分に対応した各種イベント面などをさらに強化しました。特にこれらイベントは年間を通じて多種多様に開催していますが、そのなかのいくつかを抜粋します。

・いきもの観察会

例年好評のいきもの観察会 2017 を 4 月～11 月の間、毎月テーマを変えて開催しました。中には台風などの天候不順でやむを得ず中止した月もあります（グリーンピアながわ）。



チョウ類観察会



ライトトラップ



カブトムシ捕獲大作戦

・カブトムシを観察しよう

園内で採取したカブトムシの幼虫からかえった成虫 200 匹の里親制度として、子供たちに持ち帰って育てる体験をしてもらいました。カブトムシは観察したあと持ってきてもらい、園内に放しました（花畑園芸公園）。



カブトムシを大事に持って帰る子供たち

**むし**  
**カブトムシを**  
**かんさつ**  
**観察しよう!**

花畑園芸公園で生まれたカブトムシを観察してみませんか!

HANAHATA BEETLE CLUB  
花畑園芸公園で生まれたカブトムシをかんさつします。(無料)

- 期間 平成29年6月17日から7月10日
- 場所 花畑園芸公園 管理事務所
- 時間 10:00から16:00まで
- ひとし 155 先着200名(ひとし1頭)

● よくかんさつしたカブトムシが元気なうちに花畑園芸公園に来て帰らせてあげてね!  
● 公園に放した方に限り19年追加パスをプレゼントさせていただきます。  
● おしやつ特許品は出てきませんので、19年1組合も19年までご了承ください。

● 花畑園芸公園

〒111-0114 東京都荒川区西日暮里1-1-1  
TEL:03-5625-1144  
FAX:03-5625-1145  
E:hanahata@kcp.or.jp  
http://www.hanahata.or.jp



- 園芸講座など

毎月1～4回程度の園芸講座を開催しました。特に7月には「鳥の目を見た植物」、8月には「昆虫の目を見た植物」という特別講演を専門家による興味深い講座内容で開催し、受講者からは続編がぜひ聞きたいというリクエストが出るほど好評でした。

また、子供たちに土に親しむ体験をしてもらおうとキッズファームを開催し、見たこともない落花生の栽培など大人気でした（花畑園芸公園）。



特別講座



キッズファーム



キッズファーム

- 外部研修受け入れ

各教育団体や生物関係団体などと連携をとりながら自然環境保護教育の実習、知識技術研鑽の場などを提供することでも社会貢献を果たしています。



韓国慶国大学学生への講習



高校生の園芸実習



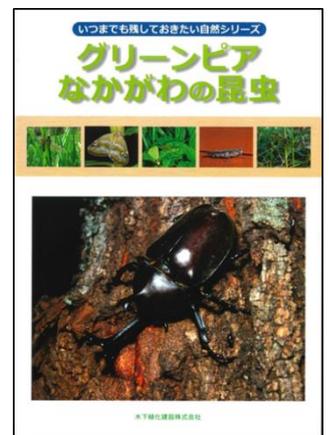
近隣小学校の野外教育の受入

- 情報の集積管理と公開

人類の台頭による種々の自然環境の悪化が目立ってきた現在、生態系の多様性、種の多様性、遺伝子の多様性という三つの面からとらえられる生物多様性の早急な保全の重要性が叫ばれてきています。私たちでも社内社外を問わず生物多様性の保全とその重要性について今後も広く行動を促します。そのためには、生物多様性の概念の中でもっとも捉えやすくかつ適当な『種の多様性保全』に関しての種々の施策を検討し取り組んでおり、活動を通じて得られた情報を蓄積管理するだけでなく広く一般に公開し、社会に役だてていくことこそ生物多様性を保全するための大きな行動ととらえています。

- ホームページの全面的な作り変えと内容の充実化

昨年は指定管理公園のひとつであるグリーンピアなかがわが開園30周年を迎えることを記念して「リーンピアなかがわの昆虫」と名を付した書籍を発刊しました。これは2013年3月から2016年6月の間に園地周辺で見出された昆虫類657種類のリストを含む68ページからなるもので、各教育機関を始め多方面で活用いただいています。今回刷新された弊社ホームページ内にさらなるフォローを含めて、いきもの図鑑のコーナーを設け、弊社が関わる指定管理公園内の生物の写真データベースに加えて今までに蓄積してきた周辺近県で撮影した写真をも新たに加えた形で公表し、生物多様性の認識あるいはその保全推進に資することを計画しました。今回の弊社ホームページには今期9月末現在指定管理園地での60余種（生態画像が約1,000枚）の掲載が済み、来期にはチョウ類だけでも120種（生態画像は豊富に3,000枚）を超えるWEB図鑑に仕上がる予定です。これは一民間企業としては例のない大規模の情報開示となり、ナチュラリストの育成から始まる生物多様化保全への意識改革の一助になればと願っています。





潤いのある緑空間の創造とマネジメントを通じて  
地域の発展に寄与します

刷新されたHP

### いきもの図鑑

公園・庭・河川など、人間の生活圏で共存している生き物たち。緑空間を創造する際に合ったいきもの選の記録です。



**鳥の図鑑**  
鳩、雀、カラス、ハシロ、ハシロ、ハシロなど、身近な生き物（カラス）の記録を載せています。



**昆虫の図鑑**  
主にアゲハ、チョウ、カマキリ、クワガタ、クワガタ、クワガタなど、身近な生き物の記録を載せています。



**植物の図鑑**  
主に桜、梅、アザミ、アザミ、アザミなど、身近な植物の記録を載せています。



**キノコの図鑑**  
キノコなどの記録を載せています。

### 昆虫カテゴリー - タテハチョウ亜科 -

**タテハモドキ**  
タテハモドキ *Junonia almana* タテハチョウ科 タテハチョウ亜科  
国内分布：九州、南西諸島 国外...

**ヒメアカタテハ**  
ヒメアカタテハ *Cynthia cardui* タテハチョウ科 タテハチョウ亜科  
国内分布：日本全域 国外分布...

**アカタテハ**  
アカタテハ *Vanessa indica* タテハチョウ科 タテハチョウ亜科  
国内分布：日本全域 国外分布：...

**ルリタテハ**



TOP 会社案内 コンセプト 営業種目 パークマネジメント 図鑑 求人情報 問合せ

### 昆虫図鑑のメニュー

【カテゴリー】

- 昆虫類 (77)
  - チョウ目チョウ目類 (77)
    - アゲハチョウ科 (12)
      - アゲハチョウ亜科 (11)
      - ウスアゲハ科 (1)
    - シジミチョウ科 (19)
      - ウツギシジミ亜科 (11)
      - ヒメシジミ亜科 (8)
      - ベニシジミ科 (1)
      - ミドリシジミ科 (9)
    - シロチョウ科 (11)
      - シロチョウ亜科 (7)
      - モンシロチョウ科 (4)
    - せせりチョウ科 (14)
      - アオハセリ科 (1)
      - せせりチョウ科 (13)
    - チャマダセセリ科

### 昆虫図鑑

種名検索の検索

search

  
クロマダラシジミ

  
キリシマドリシジミ

  
オパールシジミ

  
エゾドリシジミ

  
ウラナシジミ

  
ウラコマダラシジミ

  
ウラシジミ

  
ヒメシロチョウ

### クロシジミ

シジミチョウ科 | チョウ目チョウ目類 | ヒメシジミ亜科 | 昆虫類

クロシジミ *Niphandia fusca* シジミチョウ科 ヒメシジミ亜科

国内分布：本州（東北地方中部以南）、四国、九州  
国外分布：中国西・北部、朝鮮半島  
食草産卵：蜜食性。1～2齢はアブラムシやキクラミの分泌物。それ以降は黒大有りから蜜を絡みつける。アブラムシの寄生する付近に小枝、葉に3～4個ずつ  
発生期：7～8月（1回）  
越冬：幼虫（蛹期不定）  
生数：雑木林、荒地などで、アブラムシとクロオオアザミが寄生する場所に限られる。越冬に飛ぶが、すぐに葉上などでとまる  
特記：本州では近年激減した。福岡県レッドデータブック2014絶滅危惧Ⅱ類






コバノミツバツツシの手すりの上で日向ぼっこ 狭い空間に固執している 狭い空間に固執している 屋にとまるクロシジミ、これをクロシジミ、たクロシジミ、福岡県 たクロシジミ、福岡県、福岡県筑紫郡那珂 福岡県福岡市南区伯原 福岡市南区伯原花菜園 福岡市南区伯原花菜園 川町五ヶ山グリーンビ 花菜園表公園 表公園 2017/05/14 表公園 2017/05/14

アなかがわ 2016/07/20 2017/06/14

HP内のいきもの図鑑

・SNSの活用

インターネットを利用した本社及び各指定管理公園からの働きかけあるいはタイムリーな情報提供のため次の媒体を運用しています。

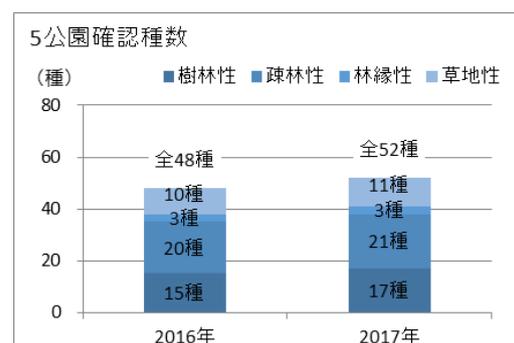
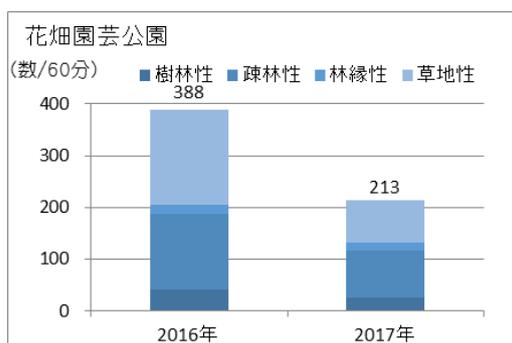
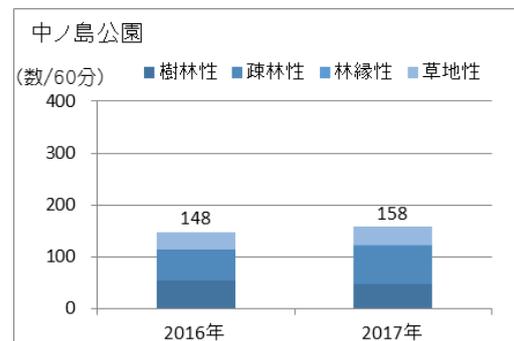
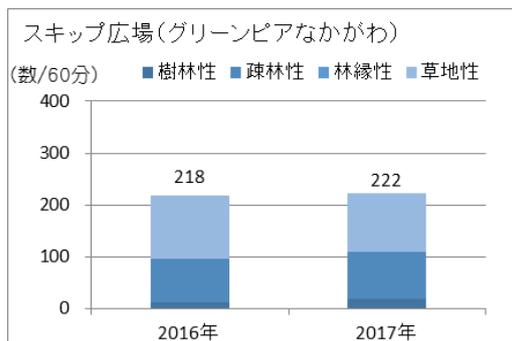
拠 点	H P	Facebook	Twitter
木下緑化建設(株)本社	●	●	●
グリーンピアなかがわ	●	●	●
中ノ島公園	●	●	●
花畑園芸公園	●	●	
桧原運動公園	●	●	
春日公園	●	●	●

・人材投入

生物多様性保全に関する知識の導入、生物調査の実施、ホームページ上への情報提供、内外両面への生物多様性保全活動などのために担当専門家を配置しました。

・トランセクト法による環境モニタリング

前年テストケースでグリーンピアなかがわ、中ノ島公園、花畑園芸公園、桧原運動公園で実施してきた、生物多様性保全につながる基礎調査であるチョウのトランセクト（ルートセンサス）法による定期調査を、今年度は新たに指定管理を始めた春日公園を含めて4～10月の間毎月実施しました。その結果として動的なチョウ相の移り変わりがだんだんと把握できるようになってきています。データ蓄積のため来年度も継続調査する予定で、これらの調査結果の進展や解析はいずれウェブに順次発表していこうと思っています。2016年2017年度のトランセクト法によるモニタリングデータの一部をあげると次のようになっています。



・植生面の調査

植物はまだ積極的な調査は行っていませんが、そのなかでも福岡県 RDB2011 に掲載の絶滅危惧 IA 類ではヒナノシヤクジョウ（昨年レポート済み）、絶滅危惧 IB 類はマルバノホロシ、絶滅危惧 II 類はキンランやキキョウなどの貴重な種が発見されました。



マルバノホロシ



キキョウ



キンラン

●その他の活動

・各種関連外部活動への社員の積極的参加推進

外部団体における生物多様性保全関連の講習、研修、活動へ積極的に参加できる環境を整えています。



ビオトープ関連研修会への参加



野外観察会への講師派遣



那珂川町自然環境観察員制度への参加

・マスコミ取材への協力

生物多様性関連の取材にも、現状が正確に視聴者に理解できるよう極力協力しています



五ヶ山ダムビオトープ取材



音の風物詩ハルゼミ取材



農業害虫大発生取材



花園園芸公園園内取材

## 6) 社会貢献

### ●自然教育 取組：本社（指定管理・グリーンピアなかがわ）

#### ・イベントの運営

「グリーンピアなかがわ いきもの観察会 2016」 「まほろば自然学校」共催  
 緑に関する私たちの事業が、人類のため社会の為に重要であることを発信していきたいと考えています。  
 そのために、子供たちへの自然教育を実施しています。この取組を通じて緑地を造るだけの造園工事業  
 から緑の空間を活用し、重要性を伝える、より社会性の高い事業に切り替えます。

#### 「カブトムシ捕獲大作戦」

森林資源の恵みを子供たちに身近に感じてもらうこと自然の中で遊ぶことの楽しさを感じてもらうことを  
 目的に実施した企画です。

#### 「音楽祭」

自然ゆたかな「グリーンピアなかがわ」で、季節の自然を感じながら音楽を楽しみました。

#### 「私たちの樹プロジェクト」

福岡市の小学生と学校に植樹し、植物の大切さを伝える活動を行っています。



(いきもの観察会) (カブトムシ捕獲大作戦) (音楽祭) (私たちの樹プロジェクト)

### ●ボランティア活動 / インターン受入

(公社)福岡県造園業協会主催の五ヶ山ダム建設用地に広葉樹を植栽するボランティア活動に積極的に  
 参加しています。

毎年、高校生・専門学校生・大学生のインターンシップの受入を行っています。  
 将来的に緑に関わる職業に就いて環境に貢献できる人材育成を支援しています。  
 2016年度はベトナムからの留学生3名がインターンシップを行いました。  
 各公園で小学生の仕事体験、中学生の体験学習等の受入も行っています。



(植栽ボランティア)

(留学生インターン受入)

## 8. 環境関連法規等遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、控訴等の有無

環境関連法規	要求事項	遵守状況
グリーン購入法	一般的な義務	適
廃棄物処理法	一般廃棄物の処理（委託）	適
	一般廃棄物の処理（委託基準）	適
	産業廃棄物の処理（処理義務）	適
	産業廃棄物（処理基準）	適
	産業廃棄物（保管基準）	適
	産業廃棄物（保管の届出）	適
	産業廃棄物（委託）	適
	委託基準	適
	産業廃棄物（排出者責任）	適
	産業廃棄物（多量排出事業者の義務）	適
	産業廃棄物管理票の交付	適
	投棄禁止	適
	焼却禁止	適
	産業廃棄物管理票の写しの保存期間	適
	管理票交付者の報告書	適
	管理票の写しの送付を受けるまでの期間	適
	管理票交付者が講ずるべき措置	適
雑則	報告の徴収	適
建設リサイクル法	建設業等を営む者の責務	適
	対象建設工事の届出に係る事項の説明等	適
	下請負人に対する元請業者の指導	適
オフロード法	事業者及び使用者の責務	適
	使用の制限	適
	雑則	適
	建設業法に規定する建設業を営む者で特定特殊自動車を使用する者が特定特殊自動車（法の施工の前に製作等されたものを含む。）の排出ガスの排出の抑制を図るための取り組むべき措置に関して定めるものである。	適
	経過措置	適
騒音規制法	特定建設作業の事前届出	適
	規制基準の遵守	適
振動規制法	特定建設作業の事前届出	適
	規制基準の遵守	適
自動車リサイクル法	自動車の所有者の責務	適
	使用済自動車の引渡義務	適
	再資源化預託金等の預託義務	適
フロン排出抑制法	特定製品の管理者の責務	適
	第一種特定製品の管理者の判断の基準となるべき事項	適
	業務用のエアコンディショナー、冷蔵機器及び冷凍機器でフロン類が充填されている第一種特定製品のフロン引渡し	適
	回収依頼書、委託確認書の授受。	適
	引取証明書の授受。	適
	第一種フロン類回収業者は、第一種特定製品廃棄者に対し、フロン回収料金を請求出来る。	適
	フロン類の放出禁止。	適
家電リサイクル法	事業者及び消費者の責務	適
	料金の請求	適
小型家電リサイクル法	定義	適
	事業者の責務	適
農薬取締法	使用の禁止	適
	農薬の使用の規制	適
	水質汚濁性農薬の使用の規制	適
水質汚濁防止法	排水基準の遵守義務	適
大気汚染防止法	排出基準の遵守義務	適
悪臭防止法	規制基準の遵守義務	適
消防法	消防	適

当事業所及び建設現場に適用される環境関連法規の順守状況を確認した結果、違反は有りませんでした。  
また、関係機関及び利害関係者からの指摘も訴訟もありませんでした。

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

評価および見直しの実施日 . . . . . 2018年1月13日  
評価者（代表者） . . . . . 木下 浩市（社長）

### 評 価

本社・田主丸においては、売上高や社員数の増加により、各排出量・使用量のほとんどで実績値が前年度を上回ったものの、売上高原単位ベースでは水使用を除き確実に低下しており、一定の成果が得られたと思います。なお、現場における電気や水の使用量の急増は、大型工事の受注に伴い現場事務所を設置したためと考えられます。

また、当社のホームページでは「環境にやさしい緑空間の創造」や「生態系に配慮した緑地管理」といった環境活動をアピールしていますが、このことがアクセスする方に好印象を持ってもらえるためか、人材確保が困難な中ででの求人活動に効果が上がっています。

リサイクルセンターにおいては、昨年7月の九州北部豪雨災害により発生した流木等を円滑に受け入れることにより、環境改善に寄与すると考えます。

### 見直し(変更の必要性と指示)

- ①産廃ボックスの排出量が増加傾向にあることから、その原因を究明すること。
- ②工事現場事務所において急増した電気や水の使用量の節減対策を検討すること。
- ③グリーン購入について、社内で再度徹底するとともに、とりわけ新設の公園管理事務所に浸透させること。



# KINOSHITA

～ 環境づくりに技術研鑽を通じて地域社会に貢献する ～



桧原運動公園  
HIBARU SPORTS PARK



春日公園  
KASUGA PARK